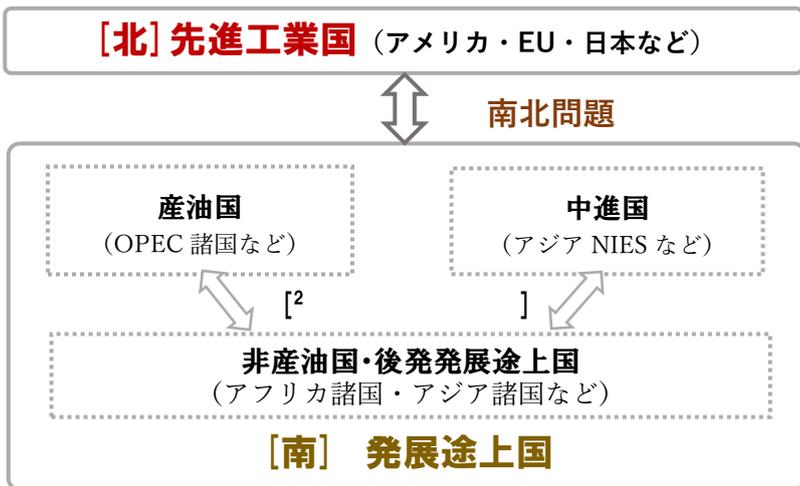


途上国の経済



(i) 南北問題

南北問題 …… 先進国と発展途上国の経済格差による問題



[原因]植民地支配の影響で、
経済が特定の一次産品に輸出や
生産を依存させている

= [1]]

(例)ある製品が輸出に占める割合(2019)

ザンビア…銅が 71.8%

コートジボワール…カカオ豆が 28.1%

後発展途上国(LDC)と呼ばれる

■ 1970 年代以降の新たな問題

・ **南南問題** …… OPEC に所属する産油国や、工業化が進んだアジア NIES などは豊かになっていった。
一方、開発が遅れ、資源も乏しい国は、未だに貧困度は増している現状がある。

・ [3]]問題 …… 1980 年代以降、経済開発のために先進国から多額の融資を受けた国には、
アメリカの高金利などの影響により、**債務不履行(デフォルト)**に陥る
ex) メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなど

■ 南北問題の国際的取り組み

① [4]](開発援助委員会) …… 1961 年、**OECD の下部組織**として設立。

[目的] 発展途上国への効果的な援助の調整、ODA の促進や調整

② [5]](国連貿易開発会議) …… 1964 年、国連の常設機関として設立。(本部ジュネーブ)

[目的] 貿易と開発に関する南北問題の討議が目的

・ 第 1 回総会のスローガン “援助より貿易を”

・ 初代事務局長が [6]]を提出

・ GNP 比 1%の経済援助をしよう

・ [7]]: 特定の輸入品に対して他国に対するよりも関税の税率を低くする制度

・ 一次産品の価格安定

WTO の最恵国待遇の原則に反しているが、
発展途上国の特権として認める。

1960 年代

・ **資源ナショナリズム**の高まり (= 自国の資源は自国で管理する! という産油国の主張)

※当時石油などの資源は先進国が管理していたが、途上国から格差是正の要求が高まる

1973 [8]] (**石油輸出国機構**) 結成 (= 産油国の集まり)

1970 年代

・ 1974 [9]] (**NIEO**)樹立宣言 採択 …… 国際経済における途上国の平等参加を要求

(ii) 新興国の急成長

■ アジア NIES

1970年代に入ると、経済発展を始めた国々が出てきた。

★NIES = 新興工業経済地域

韓国・台湾・香港・シンガポールなどのアジア諸国(アジア NIES)や

アルゼンチン・ブラジル・メキシコなどの中南米諸国において、急ピッチで工業化が進んだ。

一方、経済成長を続ける中で投機的資金が流入すると、バブル崩壊を見越した金融不安が発生した。

1997年の^[10]]における通貨暴落がアジア各国に波及した=^[11]]

■ 中国の台頭

新興国の中でも成長著しい国が中国である。

1978 **改革・開放政策**

1989 **天安門事件** … 反政府デモが発生するが鎮圧

2010 GDPで日本を追い越し、世界第二の経済大国へ^[12]]、**世界の市場**とも呼ばれる

2015 **アジアインフラ投資銀行**(^[13])設立
→ 加盟国へインフラ整備などへの融資

現在 ^[14]]…ヨーロッパとアジア間のシルクロード経済圏の構築



+ α 注目される巨大テック企業 ~BATH~

携帯やインターネットの普及を背景に、中国で力を伸ばした4つの巨大テック企業は **BATH** と呼ばれる。テック企業とは、ITやテクノロジーを駆使した企業のことであり、アメリカの **GAF**A と対比される。

* **中国 BATH** … **B** : Baidu(百度) 検索エンジン、オンライン広告、動画配信サービス

A : [] (阿里巴巴) 中国最大のeコマース事業

T : Tencent(騰訊) SNSやチャットツールのコミュニケーションアプリ

H : [] (華為) スマートフォンやICTインフラの開発製造

* **米国 GAF**A … **G** : [] **A** : [] **F** : [] **A** : []

■ 成長が期待される新興国

* **BRICS** … 高い経済成長が予想される各国の頭文字をとって呼ばれるように。

もともと4カ国(BRICs)で開催していた首脳会議に、2011年~南アフリカ共和国が参加することになり、最後のsが大文字となった。

(**B**: **R**: **I**: **C**: **S**:南アフリカ共和国)

* **NEXT11** … BRICSの後に続く新興国として、ゴールドマンサックス社が2005年に提唱

(バングラデシュ、エジプト、インドネシア、イラン、韓国、メキシコ、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、トルコ、ベトナム)

■ 貧困から自活への支援

・ ^[15]] : 貧しい人に資金を無担保で少額融資し、自活を支援 (例)バングラデシュのグラミン銀行

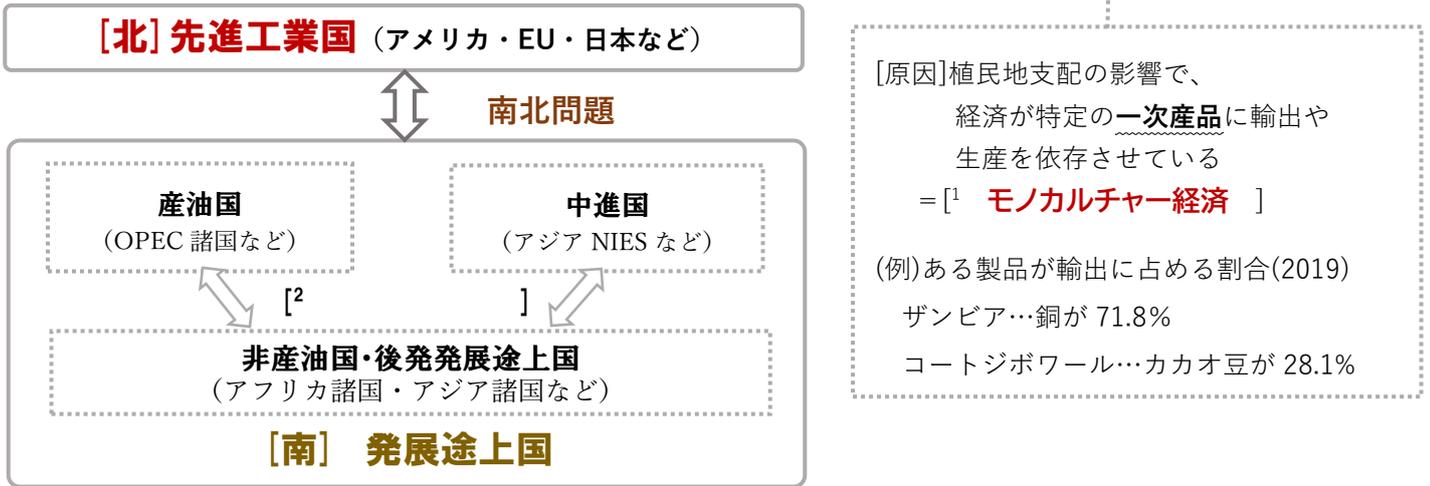
・ ^[16]] : 途上国の人々が作った商品を、公正な値段で継続的に購入して自立を支援

途上国の経済



(i) 南北問題

南北問題 …… 先進国と発展途上国の経済格差による問題



後発展途上国(LDC)と呼ばれる

■ 1970 年代以降の新たな問題

- ・ **南南問題** …… OPEC に所属する産油国や、工業化が進んだアジア NIES などは豊かになっていった。一方、開発が遅れ、資源も乏しい国は、未だに貧困度は増している現状がある。
- ・ **[3 累積債務]** 問題 …… 1980 年代以降、経済開発のために先進国から多額の融資を受けた国には、アメリカの高金利などの影響により、**債務不履行(デフォルト)**に陥る
ex) メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなど

■ 南北問題の国際的取り組み

- ① **[4 DAC]** (開発援助委員会) …… 1961 年、**OECD の下部組織**として設立。
[目的] 発展途上国への効果的な援助の調整、ODA の促進や調整
- ② **[5 UNCTAD]** (国連貿易開発会議) …… 1964 年、国連の常設機関として設立。(本部ジュネーブ)
[目的] 貿易と開発に関する南北問題の討議が目的

- ・ 第 1 回総会のスローガン “援助より貿易を”
- ・ 初代事務局長が **[6 プレヴィッシュ報告]** を提出
 - ・ GNP 比 1% の経済援助をしよう
 - ・ **[7 一般特惠関税]** : 特定の輸入品に対して他国に対するよりも関税の税率を低くする制度
 - ・ 一次製品の価格安定

WTO の最恵国待遇の原則に反しているが、発展途上国の特権として認める。

1960 年代

- ・ **資源ナショナリズム** の高まり (= 自国の資源は自国で管理する! という産油国の主張)
※ 当時石油などの資源は先進国が管理していたが、途上国から格差是正の要求が高まる

1970 年代

- 1973 **[8 OPEC]** (石油輸出国機構) 結成 (= 産油国の集まり)
- 1974 **[9 新国際経済秩序 (NIEO)] 樹立宣言** 採択 …… 国際経済における途上国の平等参加を要求

(ii) 新興国の急成長

■ アジア NIES

1970年代に入ると、経済発展を始めた国々が出てきた。

★NIES = 新興工業経済地域

韓国・台湾・香港・シンガポールなどのアジア諸国(アジア NIES)や

アルゼンチン・ブラジル・メキシコなどの中南米諸国において、急ピッチで工業化が進んだ。

一方、経済成長を続ける中で投機的資金が流入すると、バブル崩壊を見越した金融不安が発生した。

1997年の^[10] **タイ**]における通貨暴落がアジア各国に波及した=^[11] **アジア通貨危機**]

■ 中国の台頭

新興国の中でも成長著しい国が中国である。

1978 **改革・開放政策**

1989 **天安門事件** … 反政府デモが発生するが鎮圧

2010 GDPで日本を追い越し、世界第二の経済大国へ

^[12] **世界の工場**]、**世界の市場** と呼ばれる

2015 **アジアインフラ投資銀行**(^[13] **AIIB**)設立

→ 加盟国へインフラ整備などへの融資

現在 ^[14] **一帯一路**]…ヨーロッパとアジア間のシルクロード経済圏の構築



+ α 注目される巨大テック企業 ~BATH~

携帯やインターネットの普及を背景に、中国で力を伸ばした4つの巨大テック企業は **BATH** と呼ばれる。テック企業とは、ITやテクノロジーを駆使した企業のことであり、アメリカの **GAF A** と対比される。

* **中国 BATH** … **B** : Baidu(百度) 検索エンジン、オンライン広告、動画配信サービス

A : [**Alibaba**] (阿里巴巴) 中国最大のeコマース事業

T : Tencent (騰訊) SNSやチャットツールのコミュニケーションアプリ

H : [**HUAWEI**] (華為) スマートフォンやICTインフラの開発製造

* **米国 GAF A** … **G** : [**Google**] **A** : [**Amazon**] **F** : [**Facebook**] **A** : [**Apple**]

※現在 **Meta**

■ 成長が期待される新興国

* **BRICS** … 高い経済成長が予想される各国の頭文字をとって呼ばれるように。

もともと4カ国(BRICs)で開催していた首脳会議に、2011年~南アフリカ共和国が参加することになり、最後のsが大文字となった。

(**B**: **ブラジル**・**R**: **ロシア**・**I**: **インド**・**C**: **中国**・**S**: **南アフリカ共和国**)

* **NEXT11** … BRICSの後に続く新興国として、ゴールドマンサックス社が2005年に提唱

(バングラデシュ、エジプト、インドネシア、イラン、韓国、メキシコ、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、トルコ、ベトナム)

■ 貧困から自活への支援

・ ^[15] **マイクロクレジット**] : 貧しい人に資金を無担保で少額融資し、自活を支援 (例)バングラデシュのグラミン銀行

・ ^[16] **フェアトレード**] : 途上国の人々が作った商品を、公正な値段で継続的に購入して自立を支援